



緊急放送システムは、こんな時に活用できます

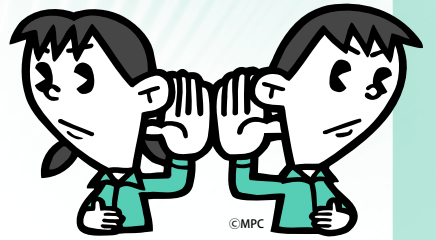
災害発生時やその恐れのある時に、市内に配置された屋外スピーカーから情報を伝達します。発信される情報は、次のような内容です。

- 災害時
 - 緊急地震速報
 - 避難情報
 - 避難所での給水情報 など
- その他
 - 行方不明者捜索情報 など
 - 訓練放送 など

災害情報をすばやくキャッチ

市内一斉緊急放送システムの運用が始まります!

市民の皆さんに、災害などの緊急情報を素早く伝達できるよう、市では市内79カ所に屋外スピーカーを配置し、FMラジオ（えふえむ草津）の電波を活用した、市内一斉緊急放送システムの整備を進めてきました。テスト放送も終了し、いよいよ3月6日から実施します。



緊急放送システムって、どんなもの?!

自然災害はいつ発生するかわかりません。大規模災害では、同時多発的に被害が発生する恐れがあります。道路や通信手段に重大な障害が生じ、災害状況や支援状況などの情報も届きにくくなります。

市の、これまでの緊急時の情報伝達手段は、防災行政無線、ラジオ、災害情報メール、広報車などでした。

3月からは、市民の誰もが、屋内外を問わず、素早く情報をキャッチできる「市内一斉緊急放送」も始めます。これは、FMラジオの電波を利用して、市役所、えふえむ草津、湖南広域消防局が連携し、災害などの緊急時に、屋外スピーカーやFMラジオから情報を発信するシステムです。国から発信される大規模災害などの情報も、直接市民の皆さんに届くようになります。

災害はいつ発生するか分かりませんが、大切なのは「命を守る」ことです。「緊急放送システム」を活用し、防災意識を持って、災害に備えましょう。

災害時にこそ、地元のラジオは市民の力になります

地域コミュニティFM えふえむ草津 (78.5MHz)

「えふえむ草津」は、市民に愛される放送局を目指して、毎日、生活情報や安全情報など、地域に密着したさまざまな情報を発信しているコミュニティFM局です。

今回、「えふえむ草津」の電波を使って、国から送られる緊急放送（全国瞬時警報システム「J-ALERT」）や、市からの緊急情報を、市民に直接お届けします。

これは全国初の試みで、地元に着したコミュニティFMだからこそできることだと思っています。

私が、「えふえむ草津」を起業しようと思ったきっかけは、新潟県中越地震でボランティア活動をした友人の言葉でした。長岡市のFM局が、市民の大きな力になっていたというのです。私自身も愛知県の大水害の際、ラジオを通して災害情報を得た経験があったので、自分の育ったまちでやりがいのある仕事をしたいと思いました。

災害時に、被災した人たちが一番知りたい情報をお届けする、これが、私たちの使命です。



えふえむ草津 代表取締役 酒井恵美子さん
2009年3月20日開局。放送エリアは草津市内と大津、守山、栗東の一部

毎日、朝と夕方の2回、「いつも心に」という番組を放送しています。5分ほどの短い番組ですが、パーソナリティーが自身の観点で防災情報を話します。市民の皆さんにも、防災をより身近なものとして意識していただけたらと思います。

災害時に力が発揮できるよう、日ごろから市民の皆さんに親しまれるFM局になりたいですね。

「コミュニティFM放送とは、地域に密着した情報を提供するために平成4年に制度化された超短波（FM）放送。全国に約240局が放送中。」

3月6日(日)

市内すべての屋外スピーカーから、運用開始のメッセージが流れます

- 16:30 えふえむ草津(78.5MHz)で特別番組を放送
- 17:00 市内すべてのスピーカー(7ページ参照)からメッセージが流れます

翌週から、当分の間、毎週日曜日17時(4~9月は18時)に、短い音楽の訓練放送を行います。

運用開始に伴い、2月からテスト放送を行ってきました。周辺地域の皆さん、ご協力ありがとうございました。



▲屋外スピーカー (高さ約15m)